

2022/1/29-2

(オマケの英語教室 amateur 前編) 書庫版



昔、邦題名「ショーほど素敵な商売はない」という映画がありました。

またまた我流英訳をすると「Showbusiness is the best」或いは「It`s the best, showbusiness is」とでも訳しましょうか。

本日はこの題名をちょっと拝借して「Amateur business is the best」或いは「It`s the best, amateur business is」というお話をしたいと思います。

即ち

「素人稼業ほど素敵な（有利な）商売はない」

です。

尚、ここでは素人を日本の方に馴染みやすいように amateur（アマチュア）と英訳しましたが、英語では同じく素人を表す言葉に layman という言葉があります。

直訳すると laying（横になっている）man（人=なお man は古代ケルト語では男ではなく人全般を表していたそうです）

Laying が何故素人を表しているかと申せば、自分の想像では、プロは忙しく立ち働いているのに対して、素人は「寝そべて鼻くそほじりながら適当にやっている」というイメージというか、その人への揶揄を元にしてできたのではなかろうかと推察しております。

それはさておき、上述の

「素人稼業ほど素敵な（有利な）商売はない」

の件ですが、

実はこれ、現在の自分の偽らざる実感なのです。

普通世間様ではプロが上で素人が下だというのが常識です。

例えば「下手に素人が手を出すな。プロに任せた方がいい」

というような言い方からもわかります。

しかし敢えて素人でいた方が断然有利な場合もあるのです。

If you stay a amateur position intentionally, sometimes you can get a possibility of holding

much more cards.

次の記事では自らの経験をもとに三つの例を挙げてみたいと思います。

(続く)